

豊 栄 病 院 ニュース

令和 7 年 11 月号

令和7年10月 1 日付けで、当院に勤務されていた三浦外科医師が新潟県立がんセンター新潟病院へ転出され、後任として榊原外科医師が県立がんセンターから当院に着任されました。豊栄病院の外科は、榊原医師、小山医師、竹石医師の3名体制で診療を行います。次号に、榊原医師の自己紹介を掲載予定です。



11月1日に、豊栄病院多目的ホールにおいて、ござれやネット(北区の医療と介護のささえあいネット;山口クリニック・山口院長代表)の総会・講演会が開催されました(上、写真)。新潟市北区を中心とした医療・福祉・介護の関係者54名が参加しました。講演は、新潟市医師会の理事で新潟市東区の“山の下ねっと”の代表を務めておられる山の下クリニックの阿部院長が「新潟市医師会における在宅医療推進の取り組みと地域連携の現状」と題し、現在の医療介護の現状、新たな地域医療構想、かかりつけ医機能報告制度、医師会における医療介護連携活動、山の下ネットについて、など多岐にわたる内容をお話していただきました。また、参加者を8グループに分けグループワークを行い、各々の立ち位置や問題点など語り合い連携の構築に努めました。対面での講演会・話し合いは久しぶりの方も多く、参加者は真剣に講演を拝聴し、グループワークでは積極的に意見を出し合っていて、いい会となったと思います。北区の医療・介護がより良いものになる一助となるものと期待しています。



10 月 4 日、「豊栄病院をなつかしむ会」を開催しました(上記写真)。これは、このニュースの7月号で紹介したように、当院で2000年を記念し、タイムカプセルを埋蔵したものを、2025年6月に発掘・開封し、中に入っていた将来の自分あての手紙を記入した本人へ発送したことをきっかけとして開催したものです。25年の月日がたち、数名はお亡くなりになり、郵送した手紙に対して、ご遺族から「驚いた」「天国からのメッセージと思った」などの返信をいただいたりもしました。こうした中、2000年に豊栄病院に在籍していた方々を中心に、「豊栄病院をなつかしむ会」を開催し54名が集まり、とても和気あいあいとした会になりました。

私が、この「豊栄病院ニュース」を令和3年4月号から一回を除き毎月、編集し・発刊して、今回55回目となりました。私は令和6年3月31日に豊栄病院院長を辞職し、令和6年4月号からは、このニュース上の肩書を「豊栄病院広報係」としていましたが、令和6年4月から関先生が病院長に就任され、また、令和7年4月からは、小林内科部長が患者総合支援センター(地域連携室)長に就任されたため、私の「豊栄病院広報係」の任もそろそろ退いてもいいのかなと思い、**次回、12月号で私の「豊栄病院ニュース」は最終回**にしたいと考えました。永らくのご愛読??ありがとうございました。

発行責任者・文責;豊栄病院広報係 宮島 透

豊栄病院 (代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター

TEL 025-386-2801 (直通)、FAX 025-386-2784